

「入学者の受入れに関する方針」(アドミッション・ポリシー)について

(土木工学科)

土木工学(Civil Engineering)は自然環境と人間の調和を図り、災害から社会を守る役割を担っています。シビルエンジニアは、科学技術の飛躍的な進歩を経て益々その必要性を増しています。この要請に応えるため、本学科では社会の基盤となる施設や構造物及びそれらと自然環境の関わりについて最新の知識と技術を修得し、施設や構造物が自然や社会と調和しながら長い間私たちの役に立ち続けるように作り上げることのできるエンジニアを育成します。具体的には土木工学における基本的な知識と専門的な技術・スキルの修得を目標にして、私たちが暮らす国土、地域、都市といったスケールの社会システムとこうしたシステムを支える社会基盤施設や構造物を計画するプランニング能力とプロジェクトや業務のプロセスを合理的に管理するマネジメント能力を育成します。さらに、私たちを取りまく環境のシステム及び社会システムや施設と環境との関わりについて最新の知識と技術を修得し、人々が自然と調和し豊かに生活する空間を創造することに貢献できる能力と感性を育成します。

土木工学科では自然と密接にかかわりながら、自然環境と社会環境の改善並びに減災に必要な技術を学ぶための次のような資質を有する人を求めます。

- (1) 自然環境と人と社会の係わりに普段から強い関心がある人
- (2) よりよい自然環境、社会環境を創出して行こうとする強い意志のある人
- (3) 夢を現実にするために前向きな姿勢で自主性、創造性、コミュニケーション力を継続的に高めようと努力する人
- (4) 高等学校等における各種の学習内容を幅広く理解して、教養を身に付けている人
- (5) 工学の基礎学問である高等学校における数学、理科の基本を理解している人
- (6) 自分の考えを的確に伝えるため、文章や言葉で表現する力を身につけている人
- (7) 社会で起こる事柄に日頃から関心を持ち、その問題解決のために貢献したいと考えている人